



平成30年

# 第4回 定例会

12月4日～12月17日

18案件……議案17案件

……諮問1案件

● 質疑とは……

議会に提出した議案に対してその内容や不明な点を聞くことです。

**質疑**▼どのような経過で改正することになったのか。

**答弁**▼年々国家試験が難しくなっており合格できない場合が考えられるため。

**質疑**▼現在のこの制度を利用している人数はどれくらいか。

**答弁**▼28年度からの利用であるが、28年度は8人、29年度は8人、30年度は12人であった。

こんな質疑がありました。

伊達市看護師等修学資金貸付条例の一部改正。貸付金の返還が卒業等の後1年を経過した月から開始となるよう規定を改めるもの。

Pick up  
1

「看護師への道」をさらに優しく

産業民生常任委員会



## Pick up 2 安心できる出産にむけて

日赤病院新生児聴覚検査機器導入事業費補助金122万6千円機器導入によって聴力に問題のある新生児の早期治療につながります。

こんな質疑がありました。

**質疑**▼機器導入の理由は。

**答弁**▼これまでは日赤で生まれたお子さんは聴力検査ができなかった。そのため成長の過程で親御さんが気づかれた時点で保健師等への相談から、室蘭等の病院で受診していた。

せっかく日赤に産科があるのにこの機器がないことで室蘭に行つて生むケースが増え、産科の利用が低迷し、ひいては医師もいなくなつてしまつ事態とならぬよう必要な機器は揃えておきたいと考えた。



## Pick up 3 人事交流への試み

カルチャーセンターの指定管理が道の駅を運営するだて観光物産公社に変わります。これにより施設間の人事交流が可能となり、サービス向上などが期待されます。

こんな質疑がありました。

**質疑**▼管理者が変わるタイミングで人件費の見直しを検討できないか。

特に市の退職者が責任者として雇用される場合は天下りと言われぬよう低く抑えるべきではないか。

**答弁**▼人件費等にかかる経費は指定管理者が判断するものだが、これまでの経緯を確認し、市の考え方を伝える機会はあると思うので伝えていきたい。



## Pick up 4

### コンビニで便利になります

マイナンバーカードを持っていれば、住民票や印鑑証明などをコンビニで取得することができます。仕事などで市役所に行くことができない方など便利になります。

こんな質疑がありました。

**質疑**▼多額の初期コストとラッピングコストがかかるが導入する理由は、

**答弁**▼確かにコストはかかるが、多様化する市民ニーズに応えることが必要と判断した。

また広域での取り組みにより費用を抑制できて、今なら国の交付税措置もあるので導入を決めた。コンビニ交付の周知とマイナンバーカード普及に力を入れていく。



## Pick up 5

### LED化で見通しも明るく

市は従来型の防犯灯を一齐にLED化するための補助費用に要する補正予算を計上。平成30年度は727基分1,817万5千円、31年度に1,287基分3,217万5千円、2年間で2,014基を5,035万円かけてLED化を実施する。

こんな質疑がありました。

**質疑**▼各自治会への補助金の影響は。

**答弁**▼防犯灯の維持補助金が下がる。

伊達市と各自治会がお互いにメリットがあると考えられる。

維持補助金は減るが電気料金の負担は大きく下がるので各自治体が損をすることはないと考えられる。

